

# 特集

パーキング業界の明日 ⑥9

『自転車・バイク・自動車駐車場  
パーキングプレス』誌 発行人・森井博が聞く

ゲスト 静岡市長 田辺信宏氏

## 自転車を重点施策にして 「世界に輝く静岡」の実現を



田辺信宏

静岡市長

【プロフィール】 1961年生まれ。静岡高校を経て早稲田大学政経学部政治学科卒業。1985年(財)松下政経塾入塾。静岡市議、静岡県議を経て(財)松下政経塾政経研究所にて副所長として勤務する傍ら、社会人学生として早稲田大学大学院公共経営研究科修了。2011年静岡市長に初当選。現在2期目。

森井博

『自転車・バイク・自動車駐車場パーキングプレス』誌 発行人

縁あって田辺信宏静岡市長との対談が実現した。2011年の初当選から2期目を数え、静岡市政を預かること5年。多様な分野で手腕を発揮されているが、何と言っても私が注目したいのが、自転車を活用したまちづくりへの注力である。その内容をおうかがいするため、静岡市役所を訪ねた(2015年12月11日収録)。

## 「天然のコンパクトシティ」 静岡市にとって 自転車は格好の交通手段

**森井** 田辺市長は「世界水準の自転車都市“しずおか”」を目指し、「静岡市自転車利用計画(基本計画編)」を策定されているとうかがいました。その中身を教えてください。

**田辺** まずは、そもそも何故静岡市で自転車なのかという前提からお話したいと思います。ひと言で申し上げますと、自転車は静岡市にたいへんフィットした乗り物なのです。というのも静岡市は一年を通じて比較的温暖な気候であり、雪はほとんど降らず、風もさほど吹きません。しかも地形が平坦という特徴もあります。主要駅である静岡駅や清水駅の半径5km以内に人口が集中しています。その中では自転車利用トリップが20%を超えています。「天然のコンパクトシティ」という側面も持っていますので、その意味でも自転車は大変有望な交通手段です。  
**森井** 基本計画ではどんな点をポイントに定めているのですか。

**田辺** 基本目標を6つ掲げています。具体的には「健康」「環境」「利用」「賑わい」「モラル」「プライド」としました。

**森井** 「プライド」という目標はユニークですね。

**田辺** これは市民や地元企業が、行政と連携、協力し、将来的には「自転車と言えば“しずおか”」と誇りに思えるようなプライドを確立していただきたいという願いを込めて定めたものです。

**森井** 基本目標は、どのような取り組みで実現されていく計画なのでしょう。

**田辺** まずは「自転車サポーター制度」が基盤となります。これは、市内各地の店舗などの従業員の皆さんを「自転車サポーター」に認定し、自転車の利用ルールやマナー啓発、空気入れや修理工具の設置、自転車マップの配布などを行っていただくものです。平成47年までに、静岡市が誇るJリーグ・清水エスパルスのサポーターと同数の約17,000人に増やすことを目指しています。

**森井** 市民参画型プロジェクトなら自然に意識が高まりそうな気がしますね。

**田辺** ありがとうございます。また、ご存じのとおり、自転車の普及にはハード、ソフトの施策を欠かすことができず、静岡市でも実践していますが、ここに加えて第三の試みとなる「マインド」という柱を立てていることも特徴的な取り組みであると自負しています。

**森井** なるほど、確かにそれもユニークですね。ハード、ソフト、マインドの各施策について教えてください。

**田辺** まずハードでは自転車走行空間の整備です。平成21年に策定した「静岡市自転車走行空間ネットワーク計画」に基づいて推進してきました。平成35年度以降まで含めると総延長は354.8km。平成26年度末までに115.5kmが完成しており、そのうち32.2kmは世界文化遺産「富士山」の構成資産となっている三保松原地区に設置しています。

**森井** 三保松原地区は観光客も多いでしょうから、いち早く自転車レーンを設置されているのは良い対応ですね。

**田辺** ありがとうございます。

## 多様な付加価値をプラスして 潜在的ニーズを確認した 駐輪場の「みがきあげ社会実験」

**森井** ハードの施策には駐輪場も含まれていますか？

**田辺** はい。現在34カ所、約16,000台が収容できる駐輪場を設置していますが、一部は青空駐輪場だったり、駐輪しきれずに公道に出てしまっていたりもしますので、景観保全、放置自転車のさらなる削減の意味でも、これまで同様に駐輪場の整備を進めていく考えです。

**森井** 放置自転車対策についてはどんな施策を行ってこられたのでしょうか。

**田辺** 放置禁止・規制区域の条例整備、さらに附置義務条例による大規模商業施設をはじめとする民間施設への駐輪場整備などが奏功し、平成14年以降放置自転車の総量は半減しました。ただ、とはいえ静岡市中心市街地への買い物利用が多く、まだ約2,000台の放置自転車があるのも事実です。その対策として、平成25年にある社会実験を行いました。

**森井** どのような内容だったのですか。

**田辺** 市の中心部にある青葉通り駐輪場の「みがきあげ社会実験」と銘打ちまして様々な付加価値を備え、その効果を検証しました。その駐輪場が地下に設けられていることもあり、「くらい」「こわい」「きたない」の、いわば3K状態になっていたので、さまざまな工夫でどこまで魅力を回復できるか、63日間の社会実験を行ったのです。

**森井** なるほど。具体的にはどのような実験をされたのでしょうか。

**田辺** 照明を増やし、24時間オープン



市中心部、青葉通り駐輪場の「みがきあげ社会実験」。一角に休憩スペースやパンク修理コーナーを設けた(静岡市提供)



① 3版ある静岡市自転車マップ。左から「平日版」「休日版」「三保半島サイクリング&観光ガイドマップ」(静岡市提供)  
 ② 自転車に乗る徳川慶喜公の絵(浮月楼提供)  
 ③ 12/6に開催された「けいきさんの自転車復刻プロジェクト」に関連したシンポジウム(静岡市提供)



にして深夜早朝の時間帯でも利用できるようにしました。さらにパンク修理の専門家常駐、レンタサイクル設置、軽食販売なども併せて実施したのです。

**森井** 実にさまざまな工夫を加えられたわけですね。実験結果はどうでしたか。

**田辺** 結論から言って非常に有意義な検証結果を得ることができました。利用者数が休日20%増加、放置自転車の減少、2時間までの無料駐輪利用者が延べ1,106人にのぼったこと、そして軽食やレンタサイクル、修理など自転車を置く以外にも潜在的なニーズが存在することが確認できました。

**森井** 我々の業界ではここ数年、魅力的で、機能性に優れた付加価値を備えた駐輪場、自動車駐車場をつくることは大きなテーマとなっています。その意味では静岡市さんの取り組みも非常に興味深いですね。

**田辺** ただその一方で、もちろんコストもかかってきます。現在は、サービス向上のための原資をいかに確保するかを議論、検討しつつ、民間のノウハウの活用を考えています。

## 徳川幕府最後の将軍「けいきさん」が愛した自転車復刻プロジェクト始動！

**森井** ソフトの取り組みについてはいかがでしょう。

**田辺** まずは自転車マップの作成が挙げられます。これは独自の編集方針に基づいておりまして、3版用意しています。ひとつは「平日版」として自転車事故が多く危険な場所を記したものの。いわば「ヒヤリハットマップ」として、来年度、全中高生に配布する予定です。市内の公立高校生の約93%が自転車通学をしまして利用者が多く、相対的に自転車事故に遭う可能性も高いため、それを未然に防ぐ手段にしてもらえればとの思いです。さらに、高校生による小学生への自転車交通安全教室も実施しています。自分が教えることで安全意識や責任感を養うことに期待できます。

**森井** 高校生が小学生に教えるという試みは面白いですね。また、小学生の側から見れば、先生から教わるよりもより

身近に感じられて、交通安全への意識が高まりそうです。

**田辺** 最後はマインドで、先に触れました自転車マップがここでも活用されています。マップが3版あると申し上げましたが、2版目の「休日版」で徳川家康ゆかりのコースを含む全7コースを提案しています。散歩ならぬ「散走」として市民、観光客など多くの方に自転車を利用していただき、ひいては、地域経済の活性化に結び付けたいと考えています。

**森井** 3版目はどのようなマップですか。

**田辺** これも先ほど申し上げました三保松原地区に限定した「三保半島サイクリング&観光ガイドマップ」です。羽衣伝説、歴史探訪など計4つのルートを推奨していますので、ぜひ多くの方に利用していただきたいですね。「休日」と「三保」は自転車を活用した観光を推進するものであり、市民が主体となって編集しています。協力団体には、自活研さんをはじめ、地元常葉大学や東海大学の学生、しみずママチャリライド実行委員会、株式会社シマノ、三保地区まちづくり協議会など利用者の目線がふんだんに盛り



高校生が教え役となつて行われる自転車交通安全教室も好評(静岡市提供)

込まれているだけに、静岡市のとおきのスポットが満載されていると自信を持っています。

**森井** 市民だからこそ知り得る情報の宝庫であると。

**田辺** はい。静岡市の東京事務所、目黒の自転車文化センターなど首都圏の関連団体にも配布して静岡市のPRに活用しています。おかげさまで「市民主体の編集である」「サイクリングコースと見どころのバランスが良い」といった評価をいただきました。

**森井** ハード、ソフトに加えてマインドの3本柱がそろい、なおかついずれも他の自治体ではあまり見られないユニークな企画が多いですね。

**田辺** ユニークといえば、徳川幕府最後の将軍として名高い、徳川慶喜公にちなんだ取り組みも静岡市ならではの取り組みだと思います。

**森井** それは確かに徳川家の御膝元である静岡市でしかできませんね。どんな取り組みなのでしょう。

**田辺** 慶喜公は、地元静岡では「けいきさん」と呼ばれ、今も多くの市民に親しまれている存在です。実はけいきさんは明治10年頃、静岡県内で初めて自転車を所有した人である、実際に乗っていたという記録が残されていて、それにちなんだ取り組みです。

**森井** そんな話があったんですか。それは知りませんでした。

**田辺** この史実が現在の自転車都市・

静岡の源になったとも考えられます。けいきさんの愛車はダルマ型、ミショー型、安全型のいずれかだったのではないかと推測されています。その当時、けいきさんの自転車を修理した方のご子孫などからプロジェクトチームを結成し、何とかけいきさんの愛車を復活させ、PRにも活用させていただくため、昨年7月末に「けいきさん自転車復刻プロジェクト」を立ち上げました。

**森井** 静岡市に息づく素晴らしい歴史を活かした企画ですね。完成したあかつきには全国区の話になるのではないのでしょうか。

**田辺** 私もそうなることを願っています。当初プロジェクトメンバーの4名で、松戸市戸定歴史館、東京の自転車文化センター、大阪・堺のシマノさんが参画されている自転車博物館などを調査したほか、静岡市民にも呼びかけまして、けいきさんが走ったといわれるコースを自転車で走って追体験してみるなど復刻に向けたリサーチを継続しています。いまでは市民、学生などサポートメンバーが200名ほどに広がっておりまして、先ほど申し上げた自転車サポーター制度の拡充にもつながるはずだと期待しています。ちなみに情報収集の過程において、市民の方から、自宅に眠っていたというダル

マ型自転車を寄贈していただいたんですよ(注：本号表紙写真に掲載)。

**森井** (対談した市長室にセッティングされていたダルマ型自転車を見て)なかなかインパクトのあるカタチですね。けいきさんの愛車の復刻が楽しみです。

**田辺** ありがとうございます。今までに説明させていただきました施策をできるだけスピーディーに進められるように、関連部署、計12局25課に横串を通し、自転車施策を取りまとめて対処する体制を整えました。役所にありがちな縦割り行政ではだめだと考えたからです。現在、静岡市の自転車分担率は約18.3%<sup>\*</sup>。国内では比較的高いほうなのですが、ヨーロッパの自転車先進国では約30%が標準的だと聞いています。静岡市の分担率も、ぜひ、この30%の水準に近づけていきたい。それが達成されてこそ『世界水準の自転車都市“しずおか”』であると思います。

※ 第4回静岡中部都市圏総合都市交通体系調査

### 静岡市らしい シェアサイクルの 実現可能性を研究

**森井** ところで私は2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催までに都



田辺氏が市長就任当初は、2015年11月号対談でお迎えした国土交通省大臣官房技術審議官(都市局担当)の清水喜代志氏が副市長を務めていたという



内に大規模なシェアサイクルを走らせるべく、日本シェアサイクル協会で仕事をしています。市長はシェアサイクルについてはどうお考えでしょうか。

**田辺** 既に静岡市では研究を始めており、ある程度メリット、デメリットは整理されています。ヨーロッパ視察の際、私も体験して参りました。冒頭で申し上げたとおり静岡市は自転車移動がしやすい環境のため、特に観光客にとって利便性の高い移動ツールになると考えています。また、自転車マップも利用者にとって有効なアイテムになりそうです。

**森井** 具体的な導入の目処はまだ立っていませんか。



2014年7月に実施されたオランダ・ライデン市での視察の様子(静岡市提供)

**田辺** はい、導入にあたって課題になると思われるのは、やはり採算性の問題です。特に地方都市では広告収入が取りづらいと考えられますからね。また、自転車分担率が高いということで、すなわち市民の自転車所有率も高く、シェアサイクルを導入しても費用対効果があるかは議論の余地が残っています。とはいえ諦めてしまっているわけではありません。三保松原地区では世界遺産に登録された後、実験的にシェアサイクルを導入した経緯もありました。今後は市内のJRの駅に整備した公設駐輪場の活用を兼ねるなど採算性に配慮しながら、静岡らしいシェアサイクルの実現可能性を研究していきたいと考えています。

**森井** 公的駐輪場とシェアサイクルポートの兼用では香川県高松市や、当社が運営を担当している神戸市の「こべりん」が既に実施しています。合理的な仕組みであり、市民、観光客の認知度も高いようです。また、鹿児島市で2015年3月からシェアサイクルの「かごりん」というシステムが供用開始してしまっていて、この稼働率が約2.4倍と目下成功を収めている事例になっています。2016年の2

月に視察に行くのですが、もしご都合つければ静岡市の担当者さんも一緒にいかがですか。

**田辺** それは良いですね。百聞は一見に如かず。何らかの収穫はありそうです。自転車先進都市を目指すにあたってシェアサイクルはシンボルのひとつになるかもしれません。良いお知恵がありましたら、是非拝借できれば幸いです。

## 「第3次静岡市総合計画」で自転車重要な役割を担う

**森井** では最後に、改めて『世界水準の自転車都市“しずおか”』実現に向けての抱負をお聞かせください。

**田辺** 静岡市では、2015年から2022年までの8年間にわたる「第3次静岡市総合計画(3次総)」を立ち上げました。ポイントとなるのが「ないものねだり」ではなく「あるものさがし」をしようじゃないかということです。つまり、静岡市が元々持っている地域資源に光を当て、その良さを最大限に伸ばすことで輝くまちをつくるというわけです。



「静岡市自転車利用計画(実施計画編)」に位置つけた施策事業の展開イメージを表現したイラスト(静岡市提供)

**森井** 地域資源としては何を挙げていらっしゃるのでしょうか。

**田辺** 2本の柱がありまして、まずは先ほども触れました「歴史文化」です。登呂遺跡から徳川幕府へ連なる歴史文化は静岡市ならではの財産です。ちなみに3次総には目玉事業として、駿府城天守閣再建に着手する計画も盛り込んでいます。

**森井** それは一大事業ですね。実現すれば全国的なニュースになるでしょう。

**田辺** 次に「健康寿命」です。健康寿命は「介護不要で自立して生活できる期間」を意味し、昨今、厚生労働省も従来の「平均寿命」から健康寿命重視へ方針をシフトしています。厚生労働省の調査によると、静岡市はこの健康寿命が全国の政令指定都市では第2位。ちなみに1位は同じ静岡県内の浜松市でして、これはウナギやすっぽんの効果ではないかと思えますが(笑)。ともあれ、この素晴らしい事実を維持するために、健康増進、福祉などの分野に注力していきます。

**森井** その2本の柱において自転車

が有効活用されると。

**田辺** そのとおりです。歴史文化については自転車マップをナビにして自転車をご利用いただき、静岡市が誇る市内各地の歴史文化に触れていただく。健康寿命については、いま以上に市民の皆さんに自転車に乗っていただくことで、健康の維持、増進が促進できると考えています。自転車を介して静岡市の歴史文化、健康寿命に関する認知度が高まれば、やがてブランドとなり、リタイア後は静岡市に移住する、あるいは国内外の観光客誘致、経済効果の上昇などさまざまなメリットを見込むことができる。3次総では「世界に輝く静岡」をスローガンに掲げていますが、私たちは自転車をその実現を促す重点施策に位置づけているのです。さらにもうひとつ、静岡市をタンデム自転車が走れる街にしたい、という希望もあります。視覚に障がいを持つ方も風を切って走る爽快感が体験できるのがタンデム自転車の大きな魅力です。実現へ向けた第一歩として3輪タンデム自転



車の安全性を確認するイベントを開催したいと考えています。

**森井** なるほど。最後に自転車の備える大きな可能性に言及していただき、ありがとうございます。また、静岡市ならではの地形風土や史実を活かした数々の取り組みも大いに勉強になりました。本日は誠にありがとうございました。 PP

【パーキングプレス 発行人】 **森井 博** のプロフィール

- 一般社団法人 日本パーキングビジネス協会 理事長
- 一般社団法人 自転車駐車場工業会 会長
- 一般社団法人 日本シェアサイクル協会 専務理事
- 東京八重洲ライオンズクラブ 会員
- 六本木男性合唱団 団員
- サイカパーキング(株)、日本駐車場救急サービス(株)、モーリスコーポレーション(株) 夫々代表取締役CEO

**【略歴】** 1938年(昭和13年)宮崎県延岡市生れ77才。  
1957年(昭和32年)石川県立金沢泉ヶ丘高校卒  
1961年(昭和36年)東京商船大学(現東京海洋大学)卒  
1961~1979年 石川島播磨重工業(現:IHI)  
1979~1991年 東芝  
1991年~ 現職

**【趣味】** ゴルフ・ドライブ・歌・テニス・野球

**【遍歴】** 水泳(小学生になる前から泳ぎ、中学校では石川県大会で後にオリンピックに出た選手より速かった)、野球(中学生までは本気でプロ野球選手になるつもりであった。元西鉄ライオンズ 故・鉄腕 稲尾和久投手、完全試合男 田中勉投手、元巨人 淡河弘捕手は友人。原辰徳監督の父 故・貢氏からはボクサー犬を貰った仲。少年野球コーチ6年間)、陸上競技(短距離、やり投げ、インターハイ2回出場)、テニス(元デ杯選手本井満氏のコーチでかなりの腕前になるも、45才時アキレス腱断裂で引退)、ゴルフ(熱心に勉強するも、なかなかシングルにはなれない。これをヘタの横好きという)

過去の対談ゲストの方は、WEBでご紹介しています

パーキングプレス 対談 で検索

または <http://www.parkingpress.jp/taidan/> にアクセス

対談記事のバックナンバーもご覧いただけます。

